

# 飯舘 百景

## 想い伝わる花景色

前田・八和木地区の菜の花畑。同地区では「11区営農組合」を立ち上げナタネの生産を行っていて、菜の花畑が点在しています。今年はぐっと栽培面積が増え、五月晴れの村内を鮮やかに彩りました。



「大火山ツツジの森」のヤマツツジの群生



「飯舘村フラワーガーデン」満開のチューリップ畑



桜色に染まり春の喜びに包まれる「マキバノハナヅノ」

春から夏へ。目にも鮮やかな花景色が次々に村内を彩りました。一つひとつに物語のある花景色です。

前田・八和木地区に広がった二面の菜の花畑は、同地区の「11区営農組合」（横山正秀組合長）が力を合わせて作り出している花景色。農地を守り生かしていくために、毎年面積を広げながらナタネの生産に取り組んでいます。昨年は立派に成長した菜の花から約7.7tのナタネを収穫。搾油も行い、ナタネ油を

出荷しました。

「大火山ツツジの森」のヤマツツジの群生は、多くの人に見てもらおうと震災前から「飯舘村議員OB会」が手入れを続けていました。現在は、県の森林環境交付金事業を活用しながら村が整備を続けています。今年も二面のヤマツツジが豪華に山肌を飾っていました。村のにぎわいづくりと民間企業が佐須地区に整備した「飯舘村フラワーガーデン」。この春は（株）ホクシヨーが単独でチューリップ畑を公開。村外からも多くの人が来場し、カラフルな二面の花畑を楽しんでいました。

大久保金二さん（小宮）の「マキバノハナヅノ」では多様な品種の桜が、水仙に続いて見頃を迎えました。震災後は多くの人が大久保さんの花園づくりに参加しました。想いを宿した桜やバラが花園を彩り続けています。